

# 図書館でまってるよ!



## 選書サポーター会議 (全5回)

※YA (ヤングアダルト) =主に13歳から18歳までの世代

期 間 令和元年8月～12月 ※期間中毎月1回開催

中学生、高校生のメンバーが集まって、同年代の人たちへのおすすめの本を選び、ブックリストを作りました。昨年度も参加してくれたメンバーが会議を進行して、和気あいあいとした雰囲気での会議が進みました。完成したブックリストは図書館に配置するほか、近隣の中学校や高等学校等へ配布します。梅雨の終わり頃に、市内在学の中高生を対象にメンバーを募集していますので、榴岡図書館へお問い合わせください。中高生のみなさんのご参加、お待ちしております!



ブックリスト  
「Library横丁」は3月発行予定です。



## 図書館見学

日 時 令和元年7月11日  
北海道の小学生が、修学旅行の合間をぬって見学に来てくれました。



## 弟子入り留学

日 時 令和元年7月3日、9月12日  
小学生が、館長の「弟子」として図書館の仕事を体験しにきてくれました。



## ブックトーク



## ブックトーク



期 間 令和元年10月～11月  
中学生が、図書館の仕事を体験しにきてくれました。



## 職場体験

日 時 令和元年12月5日  
小学校で、「友だち」に関連する本の紹介をしてきました。

# 榴岡図書館だより

第16号  
令和2年  
3月1日

このコーナーでは、榴岡図書館スタッフの「Favorite(お気に入り)」な作品や作家を紹介します。

## My favorite book 『終わらない夜』

この表紙、なんだかちょっと怖い……。子どもの頃だったら、絶対この絵本を手取ることはなかったと思います。まさに、大人になって出会ったからこそ、「お気に入り」になった絵本です。

まず表紙から目を離せなくなりました。夜の森、湖に映る木と空の影、その影がどこかから白い女性に変わり陸へと上がってくる……。はじめに感じた「ちょっと怖い」「ちょっと不気味」という気持ちは、いつの間にか「綺麗」「不思議」に変わりました。どこか不気味なのに、どこか美しく目が離せない……。そうしてページをめくるたびに、ますます彼の絵に惹かれていきました。特に1作目の『終わらない夜』はそのタイトルのお通り、夜が終わらないような少し不気味な雰囲気が強くあります。

私がこの絵本を見る時には、まず絵をじっと見ます。そして絵に添えられた詩をじっと見ます。そして絵に添えられた詩を読んで、また絵をじっと見て…。するとなんだか不思議な世界に行けるような気がします。短い詩だからこそ、絵を見て私たちが自由に想像することもできるのです。この絵本は読むのではなく、「見る」「感じる」絵本だと思っています。彼の作品は『終わらない夜』の他に『真昼の夜』『どこでもない場所』『夢にめざめる世界』と現在4冊出版されています。どの本もちょっと不思議なタイトルになっています。ぜひ気になったタイトルや惹かれた表紙のものから手に取っていただきたいです。

絵をじっと見て想像していたら、本当に『終わらない夜』が始まってしまう気がしますし、「どこでもない場所」にも行ける気がします。「想像してごらん。」この言葉と一緒に、ページをめくって、夢と現実のはざまのどこか不思議な世界に行ってみませんか。

仙台市榴岡図書館 加藤亜祐美

### <関連資料>

- ・『真昼の夢』 セーラ・L・トムソン/文 ロブ・ゴンサルヴェス/絵 金原瑞人/訳 ほるぷ出版 2006
- ・『どこでもない場所』セーラ・L・トムソン/文 ロブ・ゴンサルヴェス/絵 金原瑞人/訳 ほるぷ出版 2010
- ・『錯視芸術図鑑 2』ブラッド・ハニーカット/著 北川玲/訳 創元社 2015
- ・『夢にめざめる世界』ロブ・ゴンサルヴェス/作 金原瑞人/訳 ほるぷ出版 2016

発行：仙台市榴岡図書館

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 パルシティ仙台 4F ☎295-0880